

一般質問通告書（平成27年6月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	長田 德行	1. 選挙の投票率向上について	(1) 国政、地方選挙など、白杵選挙区での投票率の推移について (2) 若者が政治を語り、選挙に触れる機会を増やす取り組みが必要であると思いますがどのように考えていますか (3) 不在者投票について、詳細な制度を周知する必要があると思いますが、どのようにされていますか (4) 選挙権年齢を18歳以上へ引き下げる事が決まった場合、それに向けた準備も必要だと思いますが、如何お考えでしょうか		
2	平川 哲郎	1. マイナンバー制度	(1) 今年の10月には通知が始まり、2016年1月から番号配布が始まると思われるが、白杵市における準備状況とこの制度の、メリット：デメリットについてお聞かせ下さい (2) この制度には強制（義務）の部分と任意の部分があると聞いていますが、これについてわかりやすく説明していただきたいと思いますがどうでしょうか		
		2. 市庁舎の建て替えについて	(1) 市庁舎の建て替えや移転など市民の中で話題になっています。これからどのように計画しようとしているのか市としての基本的な考え方を聞かせ下さい。		
		3. 教室にエアコンの設置をする事について	(1) 小中学校にエアコンの設置をする事に国が補助をするという事で、県下でも佐伯市や中津市、豊後高田市などで進められています。温暖化が進む中で、熱中症の予防、子供の集中力を高めるという観点からもエアコンの設置は緊急の課題と思いますがいかがでしょうか。		
		4. 空き家対策	(1) 空き家対策特別措置法が5月26日に施行されました。それに伴い白杵市としてどのように進めていくのでしょうか。隣の家が傾いて自分の家にのしかかって困るなどの苦情について市が対処する事が可能になるのかお聞かせ下さい		
		5. 石橋について	(1) 市内には多くの石橋があります。県の文化財の指定を受けている石橋もあります。これらの石橋について白杵市としては、どう評価していますか？県北の院内町などは、石橋を中心にした道の駅まで作っていますし、竹田市では石橋の所在を示す看板なども設置されています。白杵市においてももっと石橋の価値を理解し、大事にすべきと思いますがいかがでしょうか？		
3	匹田 郁	1. 新年度事業について	12月議会の代表質問において、市長の政治姿勢について質問しましたが、そのことをふまえ、お尋ね致します。 (1) 本年度に取り組む新規事業の内容と実行額について (2) まち・ひと・しごと創生法が施行後、国からの要請と財源がどのように提示されたか。 (3) 白杵市の通年の取り組みとの違いはどこに表れているのか。		
		2. 白杵市読書の町づくりについて	白杵市は文化の香る「まち」野上弥生子氏生誕の地として読書を推進してきました。そこで、 (1) 白杵子供読書推進計画（平成23年策定）の現状及び成果と課題について (2) 読書の町づくりプランの中で ① ハード面（環境）整備について ② ソフト面（人づくり）について ③ 学校教育とその他、大人や乳幼児について (3) 読み聞かせボランティアについて ① 導入の目的と現状 ② 導入の評価と課題について ③ 今後の計画について (4) 図書館をリニューアルしたがどのような効果が期待できるのか。		
		3. 白杵市の財政からみた市庁舎建設について	平成18年に白杵市行政活性化大綱を策定し、着実に実行してきたその効果として財政調整基金を初め、各種基金をしっかり積み上げて来たことを認識しているが、根幹の自主財源は決して大きな額ではない。建設予定地もしばられてきた。 (1) どの場所になるうとも、大規模な予算を伴うことはまちがいない事業である。財源の組み立てをどのように考えているのか。 (2) 建設地によって大きく、社会整備（インフラ）基盤が異なるが、この点について市長は、どのような認識をしているのか。 (3) 野津庁舎の耐用年数と利活用をどの様に考えているのか。 (4) 庁舎建設に伴って、通年事業に悪影響を及ぼすということがないと言い切れるのか。		

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
4	戸匹 映二	1. 「おもてなし」の観光振興について	(1) 「おもてなし」の観光振興策の一つとして、観光客や地域住民の交流の場として広がっている「まちの駅」の設置を進める取り組みをされてはいかがでしょうか。		
		2. 自主的な防災活動と防災教育の推進について	(1) 横浜市が取り組んでいる「家庭防災員制度」を参考に、市民の防災意識と地域防災力の向上への仕組みづくりを行ってはいかがでしょうか。		
		3. 大分県立美術館の学校教育への活用と支援について	(1) 学校教育の一環として大分県立美術館の観覧等の計画はありますか。 (2) 大分県立美術館の行っている「教育普及活動」を学校現場へ取り入れてはいかがでしょうか。 (3) 教育への支援として、企画展の観覧等を含め、小・中・高校生には観覧料の助成を検討いただけないでしょうか。		
5	奥田 富美子	1. 白杵市庁舎のあり方検討について	(1) 検討の過程での各委員会の議論のポイントはどのような点でしたか？ (2) 市庁舎完成までの今後のスケジュールはどうなりますか？ (3) 市民に周知を図るためにもシンポジウムなどの開催が必要と思われれます。どのようにお考えですか？		
6	土谷 桂山	1. ふるさと納税について	(1) 制度の仕組みはどうなっていますか。 (2) 昨年度までの実績はどれほどになっていますか。 (3) 全国の市町村との熾烈な競争になっていますが、白杵市ならではの取り組みをどう展開していきますか。 (4) また、市民に働きかけて他市の方に呼び掛けていく必要があると思いますが、具体的な対策をどう進めますか。		
		2. 中学校の教科書展示について	(1) 中学校の教科書採択にむけての教科書展示はいつから始まりますか。 (2) 展示の目的は。 (3) 場所は何処になりますか。 (4) 多くの教職員・市民に展示場に足を運んでもらうための対策はどうしますか。		
		3. 小学校におけるIT教育について	(1) 3年計画で進めているタブレットなどの導入の効果をどう受け止めていますか。 (2) 本年度導入予定の4校については、いつ実際に設置できますか。 (3) 1校につきどれだけの予算が必要なのでしょう。 (4) 来年度の5校については、4月からの導入はできませんか。		
7	内藤 純孝	1. 農業振興について	(1) 給食畑の野菜生産農家との契約はどのように行っていますか。生産量は増えていますか。 (2) 市内の葉たばこの作付面積(100ha)を継続するためには、新規の農家を育成する必要があると考える。たばこ学校の開設はできないか。 (3) 企業・法人の農業参入について ① 市内に農業参入を希望する企業・法人に対して市はどのように地域の指定、土地の斡旋を行っていますか。 ② 農地の確保が決定したときにその集落、またその周辺の地域に対して同意を求める必要があると思われる。市の考えは。		
		2. 文化財について	(1) 白杵市指定の文化財はどれくらいありますか。また、県・国指定はどのようになっていますか。 (2) 国宝白杵磨崖仏ほか、文化財に対しての修理・修復、また周辺環境整備について市はどのように対応していますか。		
8	若林 純一	1. 白杵市庁舎のあり方について	(1) 建替えについて「専門家委員会」「市民委員会」は、「現庁舎の位置」「白杵公園」「旧白杵商業」を挙げた。その後の検討経過と今後の見通しについて伺う。		
		2. 「サーラ・デ・うすき」について	(1) 現状と課題、その対応策について伺う。		
		3. 「白杵観光交流プラザ」について	(1) 現状と課題、その対応策について伺う。		